

古河市の取り組み



男らしさ、女らしさより
自分らしさが社会を変える
LGBT・男性・女性とは

今年度 ダイバーシティ推進係を新設

令和4年度に新設された人権推進課に、ダイバーシティ推進係を設置しました。人権啓発やダイバーシティ(多様性)社会の実現を目指します。



ダイバーシティへの取り組み

私たちが生きている社会は、さまざまな人で構成されています。市では、年齢や性別、国籍、障がいの有無等どのような立場の人も、一人一人がお互いに尊重し合い、誰もが個々の能力を発揮できる「ダイバーシティ(多様性)社会」の実現を目指しています。

第2次古河市男女共同参画プラン後期実施計画で「男女共同参画・ダイバーシティ社会の視点に立った社会制度・慣行の見直し」が計画目標の一つとなりました。

この目標に向け、人材育成や啓発活動を通して多様性が受容され、誰もが活躍できる環境づくりに取り組んでいきます。現在、関係団体や職員の研修、啓発活動やフォーラムの実施に向け準備を進めています。

男女共同参画 出前講座



7月7日、上辺見小学校の5年生62人を対象に、出前講座を実施しました。

男女共同参画をテーマに、SDGsや性的マイノリティの内容について分かりやすく説明。児童たちは、性別にとらわれることなく個性と能力を十分発揮することやさまざまな立場の人を理解することの大切さを学びました。

ダイバーシティ研修会



7月6日・29日に、ダイバーシティ社会の推進に向けて研修会を実施し、関係団体や市職員など、オンライン参加者を含め80人が参加しました。

講師には茨城県ダイバーシティ推進センター「ぼらりす」の職員を招き、参加者からは「無意識の思い込みに気付く良い機会となった」などの声が聞かれました。

Interview 講演会に参加してみた

小学校教諭として、LGBTQ+の児童にどう接するべきか悩むことがあり、講演会に参加しました。講演を通して、性の在り方は多様で自由であることを知りました。子どもたちが性に目覚める多感な



40代男性

時期に個性を尊重し、偏見のない教育を目指していきたいです。

性的マイノリティの友人がいるため、当事者であるブルボンヌさんのお話が聞きたくて参加しました。以前は友人が悩んでいたときに何もできませんでした。講演



40代女性

で聞いたことを生かし、少しでも力になればと思いました。

8月2日、ユースセンターKI防水で人権教育講演会が行われ、市内外から210人が参加しました。女装パフォーマーとして活躍中のブルボンヌさんが講師を務め、自身の経験や性的マイノリティの人たちの多様で自由な生き方を紹介。行政や国内外の支援団体の取り組み、世界と日本の性的指向に関する意識の違いなども説明しました。「性は色とりどり。自分が自分を好きでいられるよう自信を持ってほしい」と参加者にメッセージを送りました。



講師 | ブルボンヌさん

早稲田大学在学中からゲイのネットワークを主催。多様性をテーマにしたバーのプロデュース、企業や自治体などでのLGBTQ+やジェンダーに関する講演活動を行う女装パフォーマー

LGBTQ+の皆さんへ

人間の「性」に向き合うのって気後れするという方も多いですが「心が生きる」と書いて性。

「男のくせに」「女らしく」という言葉が、多くの人の可能性を閉ざしてきた面もあります。あらためて男性・女性・ジェンダー・性的指向といった多様な性のかたち、考え方をしっかり知って、自分自身を受け入れ、世界を広げてみませんか？